

議 事 録

会議名	令和2年度寒川町社会教育委員会議第2回公民館部会		
開催日時	令和2年12月17日（木）午後1時30分～午後3時30分		
開催場所	寒川町民センター1階会議室		
出席者名及び 傍聴者数	出席者：森委員(部会長) 堀委員(副部会長) 小泉委員 山口委員 欠席者：毛藤委員 事務局：芹澤教育総務課長 山口教育総務課主査 小林教育総務課主査 指定管理者：別府町民センター館長 佐々木町民センター副館長 堂前北部公民館副館長 渡辺南部公民館副館長 傍聴者：1人		
議 題	報告事項 (1)令和2年度神奈川県公民館連絡協議会表彰について (2)令和2年度公民館事業中間報告について 協議事項 (1)町民の学びを支える公民館のあり方について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 森部会長、芹澤教育総務課長</p> <p>3. 議事録承認委員の指名について 小泉委員・山口委員</p> <p>4. 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度神奈川県公民館連絡協議会表彰について 寒川町北部公民館が受賞。 ※県公民館大会で表彰式が行われる予定であったが、賞状は後日郵送。</p> <p>(2)令和2年度公民館事業中間報告について（資料2） ・指定管理者から資料2説明 北部公民館事業で「シニアクラス ヘルシークッキング」を追加。11月20日実施、参加者9人、内容はインド料理で、手袋を使って調理し、別室で少し試食し、出来上がった料理は持ち帰りとした。</p>		

(部会長) ただいまの説明について、委員の皆様からご意見ありますでしょうか。

(副部会長) 町民センターのサークル入会体験フェスタについて、30名の参加があり、9名が入会に至ったとあるが、どのようなサークルに入会されたのですか。

(指定管理者) 体操や太極拳など身体を動かすサークルや、七宝焼などものづくりのサークルでした。

(副部会長) わかりました。それから南部公民館の「今から学ぶ終活入門講座」は、だいたい何歳くらいの方が参加しましたか。

(指定管理者) 60代、70代の方が多かったと思います。本日はその資料を持参していないため、参加者の年代の詳細はお答えできません。(※参加者アンケート報告で確認したところ、50歳代1人、70歳以上5人)

(委員) 平和講座について、戦時中の体験などをお話しいただいたようですが、これは何名くらいの参加者がありましたか。

(指定管理者) 募集定員は30人でしたが、定員に満たず、22人の参加でした。

(委員) 北部公民館の生涯学習推進員でがんばっておりますが、防災講座、シニアクラス「カラダと健康」、古典芸能講座も生涯学習推進員事業であるため、こちらにも記載いただきたい。追加のヘルシークッキングも推進員事業です。

(指定管理者) 表記が抜けており申し訳ありません。追記いたします。

(委員) 南部公民館の「お父さんのための体力測定」は参加者集まらず中止とのことですが、申込も0人だったのでしょうか。

(指定管理者) 申込も0人でした。

(委員) 良い企画だと思うのですが、残念ですね。たとえば親子にするとどうでしょうか。

(指定管理者) 親子であれば、また違ったと思います。

(事務局) 私もこの講座を見たときに、公民館は男性の利用が少ないので、良い企画だと思ったのですが、申込が0人だったと聞いて驚きました。あまりにも直接的な講座名だと参加しにくいのでしょうか。男性だけの募集であると、他の講座のように女性ばかりの中に男性少数となる居心地の悪さはなくて参加しやすいと思うのですが、難しいですね。また南部公民館はこれまで料理講座が多かったのですが、それに代わる事業と

して座学の新規事業を企画するなど、各館で今年度は座学の事業が増えております。募集人数が少ないこともありますが、たいてい定員に達している状況です。町役場の事業でも講演会を実施しており、以前、私も担当しておりましたが、男女共同参画や人権などのテーマは難しく感じるため参加者を集めるのに大変苦労しておりました。今回の報告を見て、町民センターの平和講座など、皆様このようなコロナ禍の状況の中でも足をお運びいただき、教養に関する講座のニーズも高いということを感じました。町民センターの映画会も毎回人気のある事業ですが、参加者の感想を一部報告いただいております。「だれも来ぬ、どこへも行けぬ月日が続いている中、素敵な行事に参加できてうれしい」との声に、今は家に引きこもりがちになる方も多いと思うのですが、近所の公民館に足を運び、息抜きができる事業となり良かったと感じております。この感想を見たときに嬉しく思いました。

(指定管理者) 映画は12月も予定しておりますが、午前、午後2回上映ですが、定員に達しております。

(部会長) コロナ禍ということで、私がかかわっている観光協会の活動のひまわり見学会についてはあまりPRをしなかったのですが、テレビ取材があったこともあり、見に来た方から、コロナで相当自粛をしていたので気持ちが明るくなって良かったという意見をいただきました。町民センターの歴史講座「承久の乱」に私も参加しました。2022年にNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」が放送されるということで、この13人の中に寒川にゆかりのある梶原景時が入っています。できれば来年度はこのあたりのことをピックアップされて、町としての事業を企画されると再来年の放送の時につながると思いますのでご検討いただきたいです。北部公民館の陶芸教室ですが、焼くのは電気窯ですか。

(指定管理者) いえ、講師が作品を持ち帰り、焼成していただきました。公民館には窯がないので、講座時間は造形までです。講師が他の作品と一緒に焼くため、1ヶ月ほど後に参加者へ作品の受け渡しとなりました。

(部会長) どのように焼いたのかと思ったので、わかりました。

(副部会長) 以前の寒川町公民館があった頃の陶芸窯がありました、それは使わないのですか。

(指定管理者) 今回の講師のご意見ではその窯は灯油燃料で、電気窯と違い、温度が調節しにくいそうなので、ご自分の窯で対応していただきました。

(部会長) まだ窯はあるのですか。

(指定管理者) 寒川小学校の敷地内にあります。分室の陶芸サークルが使用しております。町民センターの子どもの陶芸教室では、その陶芸サークルに指導いただいて、寒川

小学校にある窯で焼成しました。

(副部会長) 公民館まつりの時に窯で焼き芋を作ってくださいね。

(部会長) ほかにご意見ありますでしょうか。その他に、委員の皆様から報告事項はございますか。委員として出席した会議などありましたらお願いします。私から町の生涯学習推進会議が 10 月 23 日にありましたのでご報告いたします。内容は令和元年度の学びプランの評価と令和 3 年度から 6 年度の 4 年間の第二次学びプランの素案でした。まず現在行われている学びプランは全部で 84 事業の計画があり、目標値があり、90%以上に達しているものは A 評価、70%以上 90%未満が B 評価、70%未満が C 評価、実施がなかったものは D 評価ということで、実績としては A 評価が 64%、B 評価が 13%、C 評価が 17%、D 評価が 4.8%という結果でした。委員からは評価が甘いのではないかとということ、誰が評価をしているのかという意見がありました。この評価は計算上で出てくるので結果に足して第三者による恣意的なものではないとのことでした。また、寒川の緑道等の整備について不十分ではという意見がありました。来年度からの第二次学びプランの素案ということで、各課から事業計画が提出されています。たしか 65 事業程度だったと思うのですが、令和元年度の現状値に対して令和 3 年から 6 年度までの目標値を掲げられおり、令和元年度の現状値よりも下げているのが 11 事業 17%、現状値と同じものが 11 事業 17%と、34%は何もせず、よほどのことが無い限り A 評価がとれます。最初に評価が甘いのではないかと言いましたが、目標が甘いのではという意見がありました。現状値よりもアップしていて 4 年間同じ目標値のものが一番多く、もしくは現状値よりも 2 年おき、または毎年少しずつ上げているというのが 29%ほどあります。本来この姿が正しいと思いますが、これが少ないことを今まで町がやっていたのかと疑問に感じています。手話についても現状値が 40 近くありながらも目標値が毎年 10 というのも現状と乖離しています。これは訂正すべきものと感じました。第二次学びプランは一般の方にも意見をいただくということで、パブリックコメントを行っているようです。もし皆様もお時間があればご覧いただいて、問題があればご意見を出してください。

(副部会長) 文化連盟の活動について報告します。町の文化祭は文化連盟が中心となり、文化祭実行委員会で毎年 10 月から 11 月の約 1 か月の期間で行っていますが、今年は新型コロナウイルスのため、中止となりました。これはちょっと寂しいとの意見もありまして、3 団体が自主的に展示発表を行うことになり、歌謡連盟発表会、舞踊おさらい会、写友会写真展を開催しました。その様子を文化連盟で発行する「文連だより」に掲載しています。来年度はどうするかということ昨日、文化祭実行委員会がありまして、日程や部屋の割り振りを 21 団体に討議してきました。会場は町民センター主体で、一部南部公民館があります。来年はコロナがどうなるかわからないし、オリンピックも開催されるかわからない。判断は来年度の実行委員会であらためて決めるということになりました。

(事務局) この文化連盟の 3 団体の発表について、文連だよりにコロナ禍の中、十分な

感染防止策をとりながら実施したということもしっかり書いてあり、団体として文化を繋ぐために団体の皆様に努力、工夫していただいていることを感じました。町としても町民により機会を提供して頂けたと思います。

(副部会長) 公民館もそうなのですが、サークルが1年に1回発表することを目標としていますので、できるだけやりたいですね。

(事務局) 成果を発表する場所があるからこそサークル活動にも力が入ると思います。どうもありがとうございました。

5. 協議事項

(1) 町民の学びを支える公民館のあり方について (資料3)

・事務局から資料3説明

- ① 公民館を利用するきっかけづくりのための改善や取組
- ② 公民館利用ガイドについて

(部会長) ただいまの事務局より説明がありました。まずは①公民館を利用するきっかけづくりにはどのような改善や取組が考えられるかについてご意見ありましたらお願いします。私からもお聞きしたいのですが「公共施設等における町民アンケート調査」はどれくらい出しているのですか。

(事務局) 町内在住18歳以上のうち1500人を無作為抽出し、417名が回答しております。公共施設再編計画の作成のためのアンケート調査です。

(部会長) 18歳以上の個人あてに送られていたのですか。

(事務局) そうなります。

(部会長) 7割の方が公民館を利用していないということが、問題ということですね。

(事務局) そう感じております。ただし、このアンケート調査だけが少ないということではなく、過去の様々なアンケート結果においても同様です。全国的にも同じような傾向で、「3割社会教育」という言葉もあり、だいたいどこでも住民の3割しか社会教育施設を利用していないと言われております。公民館だと3割、図書館だと少し上がって4割になります。寒川町内で唯一4割利用されているのは、図書館だけとなります。

(部会長) 内閣府の調査で学習したことがないという人は、公民館に行ったことがないと読み替えてもいいですかね。

(事務局) これはまた別になります。カルチャースクールや通信教育、自己学習等の方法があるため、公民館以外にも場所を問わず、学習したことがないということです。

(部会長) これはあまりにも数字が違いすぎると思いました。

(事務局) 公民館に限らず、学習したことがある方ということになります。

(委員) 18 歳以上のアンケートで低くなるのは当然だと思います。大学生や社会人もいますので。これが 60 歳以上になるとどうかということまでは掴んでおりませんか。60 歳以上ならばもう少し高いと思うのですが。

(事務局) 年代別の傾向までは出ておりませんので、わかりません。

(部会長) 年代別の回収率はわかりますか。

(事務局) 回収率では 10 歳代が 1.7%、20 歳代が 6.7%、30 歳代が 15.2%、40 歳代が 16.9%、50 歳代が 9.7%、60 歳代が 20.7%、70 歳代が 29%です。回答の全体の半数が 60 歳以上となっております。男女別は男性 44.2%、女性 54.4%です。課題 2 のところにある平成 23 年度の「公民館建て替えに向けた利用者アンケート調査」では 60 歳代が 47.9%、70 歳以上が 29.3%であり、令和元年度の公民館利用者満足度調査では 60 歳代 24.3%、70 歳以上が 55%になり、利用者がそのまま年代が上がり、新しい利用者が増えていないことがうかがえます。

(部会長) 観光協会の事業でも参加者からいろいろな意見を聴きたいので、アンケート調査の回収率を上げるためにクリアファイルといった粗品をつけるなど工夫しています。町のアンケートはそういうことは難しいかもしれないが、ただ調査用紙を送って、回答してくださいというだけでは回収率が上がらないのではないですか。

(事務局) 利用者アンケートや講座参加者アンケートの場合は自ら公民館に足を運んでくださる方々で調査内容が自分に該当することなので、書きやすく、協力的であると思います。町の無作為抽出アンケートは自分に該当しなかったり関心のない内容だったり、回収率は低くなりがちだと思います。

(部会長) 逆にそこをある程度発掘していかないと伸びていかないとします。

(事務局) 確かに利用者ではない人の意見を聴いていかなければというのはあります。

(部会長) 利用していない人をどうするかというのは非常に大きな問題だと思います。どうしたら 7 割強の方が利用してくれるようになるのか。理由はそれぞれあると思いますが、要は来てくれない人の意見をどう取り上げるのが課題だと思います。

(事務局) 同じような形で昨年度までの 2 年間、公民館部会で検討しておりました。公民館に足を運ぶきっかけづくりで、町内散策する時に休憩場所として利用してもらおうと公民館に「足の駅」ステッカーをつけたり、町内の掲示板を活用して公民館講座を

PRしたり、ロビーで気軽に見学できる催しをとったご意見をいただいております。掲示板利用はかなり効果的ではありますが、もっと利用が増加する取組が必要だと思っております。この他に公民館サークルの活動がのぞけるオープン期間の設定として、年2回、サークル入会体験フェスタを開催しています。また、親子で参加できる事業をもっと増やすことが重要なポイントではないかと考えております。昨年度、北部公民館の子どもフェスティバルで旭が丘中学校の邦楽部の演奏がありましたが、保護者や友だちなど、発表の時間帯にどっと来館が増えまして、普段あまり公民館を利用しない子育て世代の30代から50代くらいの方が多く、このような世代の方をなんとか公民館活動に呼び込めないかと思いました。学校にご協力いただくには授業や学校活動が優先となりますので、なかなか難しいとは思いますが、もう少し学校と連携した取り組みもできないものかと考えます。

(部会長) 掲示板のことですが、以前に比べると活用率がとても高くなりました。公民館事業もたくさんありますが、自分たちの団体でも掲示板を利用しようと思うと張れないことが結構あります。掲示板の大きさも小さいと思う。また、あまり人目につかないところに掲示板がある。役場の担当課に人通りの多い場所の掲示板を大きいものに改修するなど考えてほしいと意見したことがある。

(副部会長) イベントが重なる時期は張れませんね。

(事務局) 掲示板の担当課もそのようなご意見が多いからだと思われませんが、行政のものであっても掲示期間は必ず1ヶ月となりました。

(部会長) ルールを決めてくれても、張れない時があります。イベント用を作るとか行政のお知らせは別の掲示板に張るとか、掲示板を増やすことも考えてほしい。たとえば駅の周辺だけでもいいと思う。

(事務局) 広報戦略課が掲示板の重要性を認識してくれているといいのですが、管理する側の考え方と、掲示板を利用する事業主催者側とはなかなか相容れないものがあります。ゴミ捨て場の前の掲示板もありますが、必ず週何回かは近所の方は利用するので、案外悪くはないのですが、本当は駅のそばや信号機のそばなど人通りが多い場所に掲示板があるといいのにと思います。

(部会長) 掲示板がもっと利用しやすくなると、せっかく地域で活動している人々もPRできなかったということになってしまう。

(指定管理者) 公民館の事業も利用は多いので、込み合っている時期は1館で複数枚掲示しないよう配慮したいと思います。今のご意見であらためて再認識いたしました。

(部会長) 積極的に公民館の講座をPRしている姿勢はとても良いとは思いますが、ご検討ください。

(事務局) 担当課にもそのような意見があったことは伝えます。掲示板については町民やいろいろな団体からも声をあげていただくことも必要だと思います。

(委員) 公民館のホームページは閲覧数がわかりますか。

(指定管理者) ホームページの管理を委託している会社から定期的にレポートはもらっております。それほど多い数字ではありませんが、把握はしております。

(委員) いろいろな形で、広報やホームページやポスターなど見る機会があるので、本来はもっとホームページの利用が増えるといいのですが。

(事務局) 講座の参加者アンケートで、この講座は何を見て知りましたかとの問いにホームページと答えてくださる方は現状ではほとんどおりません。

(指定管理者) ホームページを見て知ったという方は少ないですね。

(事務局) 町のホームページは、公民館のページを見るために何回かページを遷移してたどり着かなければいけない点が不満ではあります。トップページにバナーを貼れないか前の担当者が広報戦略課に相談したところ、トップページはすでにお知らせが多いので出来ないとのことでした。図書館は直営の頃からトップページにバナーがあるのですが、公民館、体育館は施設のページから順番にクリックしないといけないので、なかなか目立たない状況です。昨年度は SNS のフェイスブックで公民館のページを作ったので、スマートフォンを使いこなしているような方であれば、QR コードを読み取ってご覧いただけるとは思うので、見やすくなっているとは思いますが。9月まで公民館講座が休止していたこともあり、フェイスブックには過去の事業の様子などを紹介いただいております。参考資料の公民館利用ガイドの話になりますが、これを作成していた時に公民館は「つどう、まなぶ、むすぶ」をテーマに、つどうはサークル活動、まなぶは公民館講座、むすぶは公民館まつりで紙面を作っておりましたが、初めて公民館に来る方に関心をもってもらえるように紙面づくりを意識しました。

(指定管理者) 公民館講座については今年度の当初予定の主なものすべてではありません。概ね時期が決まっていたものをピックアップしました。

(委員) 昨年度2年間は公民館部会で、ぜひ公民館に来てくださいということで、最終目標でリーフレットを作って全戸配布をしましょうということになりました。残念ながら発行できませんでしたが、来年度は発行して、どのような結果になるかわかりませんが、今年と来年度は公民館部会で最終的にどのような目標でいくかということが見えてきません。今年度は今日で部会はおしまいですよ。

(事務局) はい、今年度は部会が2回だけとなり、来年度となります。今年度は会議の開催が不定期となりまして、公民館部会はこのように対面で2回開催できましたが、図

書館部会が急遽書面開催に変更しております。ご報告が遅れましたが、委員お一人がご家庭の都合で委員退任の申し出があり、会議予定日に他の委員の事前連絡で欠席もあったことから、会議開催要件を満たさないため、書面に変更となりました。今年度は公民館部会と図書館部会で討議の足並みがそろわない状況となっております。そのため、テーマを設定せず、公民館に関するフリートークのような形でご意見いただく形式をとらせていただきました。来年度はテーマを決めて、まとを絞り討議をいただきたいと考えております。皆様のいただいた意見を公民館運営に反映できればと考えております。今年度の皆様のご意見も来年度の運営、事業に反映されることと思います。

(委員) このリーフレットはコロナの状況であっても来年度は発行するということがよろしいですか。

(事務局) はい、その前提で考えております。これは発行する段階でサークル入会体験フェスタも公民館まつりも中止ということになり、公民館利用再開の目途も立っていなかったことから見送らせていただきました。公民館まつりは、来年度の開催も不透明で実行委員会の判断によるところも大きいのですが、開催にむけては中身の工夫は必要だと考えます。公民館まつりといえば模擬店の食べ物や、館内が密の状態になりますので、感染予防対策はどうしていくかは課題です。前回部会の意見でもありましたが、まつりは2日間だけでなく、期間を延長して日を分けて開催してはということも一つの方法だと思います。新しい生活様式にあわせた対応を考えなければなりません。

(部会長) 公民館講座のテーマは各館で考えているのですか。何か指標がありますか。

(事務局) 年代を青少年、成人、高齢者、全年代と分けてバランスよく企画をするというのはあります。

(部会長) それを受けて企画をしているということですね。

(事務局) 町から指定管理者への依頼は年代別に分けることだけで、内容のジャンルまでの縛りはありません。このリーフレットの分類は、参加する方が年代別で分けるより、ジャンルで見えていただいた方が関心を持っていただけたらと思います。このような表記にしました。これについても館ごとに分けた方がよいのか、全館一緒にジャンルで分けた方がよいのか悩ましいところではあったのですが、寒川は町域が狭いこともあり、田端の方も北部公民館に行き、倉見の方も南部公民館を利用しています。

(指定管理者) 館ごとの分類も考えたのですが、ジャンル別であった方が入口としてよいのではと考えました。見せ方だとは思いますが、館ごとに一覧表を3つ作るより、ジャンル別で1枚で見ることができるので、この形式にしたと記憶しています。

(部会長) せっかく発行予定で作られていたので、一度は出してみることは大切だと思います。ただし、いろいろな思い入れはあるとは思いますが、表紙はちょっと硬いです

ね。中はいいですけどね。

(事務局) 昨年度の最後の部会の時にも素案をご覧いただいて、硬いとのこと意見をいただきましたので、がんばってみたのですが、あらためてデザインを工夫します。

(部会長) 最初に手に取る時の印象は重要だと思います。観光マップでも、3年前の寒川町の観光マップは町外のイベントに持っていてもなかなか手に取ってもらえませんでした。その後、表紙をガラッと替えたなら手に取ってもらえるようになりました。まずは手に取ってもらうことが大事で、それから中を見てもらえます。

(指定管理者) 色合いについても青が基調なので、寒色よりも暖かい色がいいかなというのがありますね。初めて見た方の意見も大事だと思うので参考にさせていただきます。改善の余地はあると思います。

(部会長) 紙質もこれですか。

(事務局) これは見本をカラーコピーしているので実物は違います。これは暗い印刷だと思います。実際は艶のあるコート紙になります。

(部会長) それならば色の出方も違いますね。まずは一度発行してみて反応を確かめるといいと思います。知ってもらうことが大事だと思います。

(事務局) 今、見ていて、中面のセンターが黄色、北部が緑、南部がオレンジと色分けしているので、裏面のマップもこの3色に統一した方が良いと思いました。

(事務局) ユニバーサルデザインの考えで見やすい配慮として色数はあまり増やさないようにしています。色の選択については「高座のころ」イメージカラーを意識しております。複数の目で見ていただくとアイデアが増えますので、気が付いたところをご指摘いただくとありがたいです。

(委員) 昨年度の最初のイメージから比べると良くなったと思います。

(部会長) リーフレットについてはよろしいですか。先ほどもご意見ありましたが、私も部会の方向性が見えないと感じています。要するに利用するきっかけづくりということで、他にこんなことをしてはどうかという意見がありましたら出していただいて来年に向けて検討できればと思います。

(事務局) 先ほど報告にもありましたら「お父さんのための体力測定」もなかなか申込者0人という講座は無いので、どのあたりが申し込む意欲がでないのか気になるころではあります。時期やタイトルも重要となりますが、親子で体力測定なら関心を持っていただけたのかなとも考えます。

(部会長) コロナの影響もあるのでしょうか。

(事務局) この状況下では運動系のものは敬遠されたのかもしれませんが。

(指定管理者) あとは日程が祝日だったため、祝日は勤務の方が多いかもかもしれません。

(委員) 最近はお勤めしている方の場合、祝日はあまり関係ないかもしれませんが。うちの家族も祝日は仕事です。

(部会長) 私は最近行ってはいないのですが、総合体育館の2階にジムがありますね。そこの利用はシニアの男性が多かったような気がします。

(事務局) 本格的に体を動かしたいという人は直接体育館を利用するのもかもしれません。公民館で目指すものは、健康の別の方向性がいいのかもしれませんが。

(副部会長) コロナの状況でテレワークが増えると思います。そうすると自宅で仕事をする方には時間の余裕ができて、利用する期待もできるのではないですか。

(事務局) 身体を動かしたいという方は多いような気がします。ウォーキングの講座もそれぞれ人気でありますし、ちょっとだけ身体を動かす機会があると好まれるのではないかと思います。

(事務局) 「お父さんの」となると参加しにくいけれど、「パパと歩こう」と若い親子を意識したタイトルにすることもできるかと思います。

(委員) リトミック系なども親子で一緒にやるような内容もいいと思います。

(事務局) 南部公民館の「血液循環簡単マッサージ講座」というのも人気で、健康法を覚えて、自宅で実践してみようといった内容でした。

(委員) マッサージなどはみんな受けたい側だと思います。以前、体育館のイベントなどでマッサージを簡単にしてもらえるコーナーがありました。

(事務局) 健康フェスティバルでしょうか。

(委員) そういう体験コーナーには結構人が並んでいましたよ。

(委員) ここには掲載されていませんが、北部公民館で先々週あたりに「輪踊り」を行いました。以前同じ内容をやった時は申込が多かったのですが、今回はおそらく参加する方もご家族に反対されたりしたのか、一般参加者は2人だけでした。スポーツ系は人気があるので、来年度のシニアクラスにはスポーツの内容を入れたいと考えています。

ニュースポーツなどをきっかけに公民館に足を運んでもらえたらと思います。あとは先ほども歴史講座などは男性の参加も多いようなので、過去をさかのぼって、こういう講座なら人気があるというのをピックアップして、手を変え、品を変えて、男性が足を運ぶきっかけを増やしてはどうかと思います。過去の資料を参考にしてはいかがですか。

(事務局) 歴史系は各館取り組んでいて、再来年のNHK大河ドラマが鎌倉時代で、寒川にゆかりのある梶原景時も出てくるので、にわかに関心が高まっていると思います。歴史から入って、自分たちの住む寒川町をよく知ることに繋がりますので、各館の歴史講座もうまく連携できたらいいと思います。座学に参加したら、次はウォーキング、さらに別のジャンルの講座に参加する流れになるのではないかと思います。

(部会長) 昨年度は北部公民館で中原街道のウォーキングの講師をやりましたが、今年は大山道でした。ただしコロナ対策として、食事をするのをやめて、香川駅を始点にいたい3時間程度の行程にしました。南部公民館の一之宮をテーマにした講座が一週間前にありまして、時期が逆だったらなという声もありました。

(事務局) 最近では昔の街道を歩くことも人気がありますね。大山道も最初から最後まで回数を分けてウォーキングをしても良いかもしれませんね。

(部会長) 町外にでかけていくと食事場所や、雨天の場合の対応が必要となるので、簡単ではありませんが。

(事務局) 今年はとくにコロナ禍の影響で人の動きも読みにくい状況だと思います。輪踊りについても踊りで健康づくりというのは面白いと思ったのですが、12月で新型コロナウイルスの感染者も増えたこともあり、申込はやめておこうかなと考える方も多かったのではないのでしょうか。この時期でなければ、参加者も落ち込まなかったのではないかと思います。あとは町民センター主催の小田原散策ですとか、北部公民館主催の南足柄の大雄山散策については、これまで主催者でバスを用意して出かける企画のため人気があると思われたのですが、公共交通機関を利用する講座となると参加者の反応はどうかと募集時は感じていたのですが、むしろすぐ定員に達したと聞き、何かきっかけがあれば出かけたなと考える方は多いということを実感しました。北部公民館の大雄山散策は大雄山駅現地集合と寒川町からの遠いので、皆様どうやって集合されるのかなと思ったのですが、こちらも定員に達したとのことで、こちらが考えているよりも町民に公民館講座が望まれているということを感じました。ハードルが高い講座かなと思いつつも、皆様は意外と受け入れてくださることがわかりました。

(事務局) 高齢者向けのパソコン講座も人気ですぐに定員に達したとのことで、スマホについてもニーズが高いようであり、高齢者の方もスマホを使いこなすと公民館のQRコードを読み取って情報を得たりできるようになるかもしれません。

(委員) 私もスマホですが、LINE と通話しか使っていない状況です。

(事務局) そういう講座があれば、情報を得やすくなりますので、公民館でも様々な講座を企画していただいております。

(事務局) 他の市町村では公民館講座のあり方について対応が様々となっております。公民館講座は対面では一切行わず、すべてインターネットによるオンラインで実施する自治体もあれば、少人数の対面の講座とオンライン講座を併用している自治体もあります。寒川町についてはまだオンライン講座は着手できていないのですが、公民館という場所があるので、学びたいという意欲のある方には小規模な講座について継続していきたいと考えています。大がかりなイベントはまだ見通しが立たず難しいのですが、地域で学ぶ場所は保障したいと思っています。春に公民館、図書館が3か月間休館したことは、皆様の生活に大きな変化をもたらしたと思います。サークル活動が休みとなり、いざ公民館が開館した時に活動を再開する気力がなくなってしまったという話もききます。とくにコーラスの団体は発表の場もないようなので、サークルの方にお尋ねしたら、最初は発表会もないので、目標も立たず、活動休止していたけれど、やっぱり仲間に会いたいという声もあり、パート練習など人数を減らして再開していますとのことでした。そのような方々のためにも文化祭のような発表機会があるといいのですが、コーラスは感染対策にとくに気を遣わなければなりませんので、どういう形でできるかなというのは検討課題であります。

(委員) 婦人会も集まる機会が一切なくなってしまいまして、みんな家で元気に過ごしているか心配でした。先日、フラワーアレンジメント教室をやりましたら、20 人くらいの予定が、25 人の応募がありましたので、急遽大きな部屋を借りて、ぽつりぽつり離れて座って、先生に回っていただく形にしました。皆さん、参加できたことを本当に喜んでいました。受付で熱を測って、徹底的に消毒にも気を付けながらも、やっぱり家に閉じこもっているよりも、少しでもみんなの顔が見たいと思ったようです。今まで、活動がわずらわしく感じることもあったのですが、今は何か声をかけてくれないかしらと待っています。人のつながりの大切さが皆さんわかったみたいですね。来年2月に茅ヶ崎市である予定だった婦人会の大会も中止になってしまったのですが、やっぱり何かできないかと思っておりますので、公民館でも随分いろいろな講座をされているということを知りまして、とても良いと思います。ただ人数が少ないので、申し込むときにまずそこに目が行くのですよね。人数が少ないと申し込む気がひいてしまいますが。

(部会長) 今は人数制限があるのは仕方がないですね。

(事務局) ある意味、公民館の存在意義を示せる時だと思えます。

(部会長) やっぱり、今まで遠くに出かけていたような人が地域の活動に注目してくれるようになったと思います。私も観光ボランティアでひまわり畑のライトアップを手伝った時に、準備が終わって時間前に来た方と話をしたのですが、一之宮にお住まいの

	<p>年齢は 50 代後半か 60 代くらいだと思うのですが、友達が寒川に来た時に、案内するところが寒川神社のほかに何があるのかと聞かれ答えられなかったと言っていました。その方は地元育ちだそうで、私がいろいろお話しをしたら全然ご存じではなかったようで、歴史のこともありますが、町内に施設があることすらも知られてないと思いました。やはりどうやって PR をしていくかも必要だと思います。</p> <p>(事務局) 自宅にいる時間が長くなれば、これまで興味のなかったことも調べてみようという気持ちにもなると思うので、これまで公民館を利用されていなかった方もこれを好機ととらえて、興味を引くようなきっかけをつくって来ていただけるような工夫がこれからできればと思います。公民館の意義というのも担当課として再確認できましたし、公民館を利用してつながりづくり、学び、そういった場であるのだなということを確認しました。これからも工夫して、コロナ対策とりながらも、続けていかなければと思っています。それなのでどんなきっかけを作ればいいのか、というのが毎年のテーマだと思います。</p> <p>(部会長) アンケートで利用していない人が利用されないまま終わるのか、70%強の人には全く来られない理由の人もいるでしょうけど、少しでも興味をもってくれるような形をとっていかないとおそらくどんどんジリ貧になってしまうと思います。</p> <p>6. その他</p> <p> 次回の部会の開催予定について</p> <p> 2月26日(金)13:30～ 町民センター展示室第2</p> <p> ※緊急事態宣言期間中のため、書面開催に変更</p> <p> 県社教連、県公連関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月14日(木) 県社会教育委員連絡協議会研修会(横浜市)→書面開催へ変更 ・1月29日(金) 県公民館大会(小田原市)→書面開催へ変更 ・2月19日(金) 県社会教育委員連絡協議会地区研究会(山北町)→書面開催へ変更 <p> 全国社会教育研究大会新潟大会について</p> <p> 配信で期間限定公開 (12月1日～31日)</p> <p>7. 閉会</p> <p> 堀副部会長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和2年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿</p> <p>資料2 令和2年度公民館講座事業実績 (4月～11月分)</p> <p>資料3 町民の学びを支える公民館のあり方について</p> <p>資料4 令和2年度寒川町社会教育委員会議日程 (R2.12月時点)</p> <p>参考資料 寒川町公民館利用ガイド (R2年度版素案)</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・小泉光子 ・山口明伸</p> <p style="text-align: right;">(令和3年2月13日確定)</p>